今後の防衛力強化の方向性について

令和８年１１月
防　　衛　　省

防衛力の基本的な考え方

- ◆ **防衛力**は、力強い外交を展開する上での裏付けであるとともに、**国家安全保障を最終的に担保**するもの
- ◆ 我が国の防衛が目指すところは、相手を屈服させることではなく、**相手の目的達成を拒否**する能力を持つこと。これにより、相手の威圧・強制・侵攻へ適切に**対処**し、ひいては、我が国への侵攻を**抑止**する
- ◆ 現行三文書の相手の能力と戦い方に着目した防衛力の確保という考え方は不変。あらゆる様相の侵攻を拒否できる能力をもつことで、事態の生起を**総合的に抑止**

防衛目標

① 我が国及び地域の平和と安定に対する力又は威圧による**一方的な現状変更とその試みを抑止**する
② 抑止が破れ、侵攻が生起した場合には、**実効的に対処**し、侵攻を**阻止・排除**する
③ 我が国にとって望ましい**安全保障環境**を主体的に**創出**する

防衛目標を達成するアプローチ

自らの国は自らが守るという力強い意思と努力が基本であり、同盟国・同志国等との協力・連携の大前提との考え方の下、

① **我が国**の防衛力の変革（→我が国の防衛力を強化し、相手による目的達成を拒否する能力を高める）
② **同盟国**たる米国との協力の一層深化（→ 共同対処能力の強化と生産基盤を含めた協力の拡大）
③ **同志国等**との連携の一層深化（→より実効的なものに発展させ、地域全体の抑止力を向上）

防衛力の変革の見取り図

- 力又は威圧による一方的な現状変更とその試みを抑止し、地域の平和と安定、そして国民の命と暮らしを守り抜く。安全保障環境の現実を見据えた**対処力**と、それによって形作られる信頼性ある**抑止力**を構築することが「防衛力の変革」の核心
- このため、**早期・遠方で侵攻を阻止・排除**する能力を引き続き強化しつつ、**新しい戦い方への対応**や**継戦能力の強化**が必要
- 防衛力の変革のための投資により**「防衛と経済の好循環」**を実現し、**総合的な抑止力・対処力**の強化につなげる

⇒「三文書の検討を加速し、5年以内に防衛力の変革を実現する」（「経済財政運営と改革の基本方針2026」（骨太方針2026））

1 **早期・遠方阻止の能力**を強化しつつ、必要なデータ・装備品を統合・連接し、意思決定の優勢を確保する**「新しい戦い方」**に対応



2 長期化した事態に適応できる **「継戦能力」**を強化



3 防衛力の変革のための投資により、民間の経済活動との相乗効果を発揮する **「防衛と経済の好循環」**を実現



※ 図はAI作成によるイメージ

意思決定の優勢の確保

◆ 強化したセンサー群が収集した**膨大なデータ**をクラウド・ネットワークで**蓄積・処理**することを前提に、**AIを活用**した作戦現場における効率的な対処と、中央における**意思決定の速度と質の向上**をそれぞれ実現

AI・無人アセットを重視した
「智能化戦争」を強力に推進

イランへの攻撃などにみられる
AIを活用した**迅速な戦闘サイクル**

“我々（米軍）は、あらゆる領域において「AIファースト」の戦闘部隊となるだろう。”
出典：「米軍のAI優位性を確保するためのAI加速化戦略」に関するヘグセス戦争長官の談話（2026年1月12日）

“米軍はNGA Maven※により、目標の探知から攻撃までの時間を、数時間から数分に短縮。”
※パランティア製「Maven Smart System」の核となるAIモデルやインフラ等を構成する米国のAIプログラム
出典：米国家地理空間情報局（NGA）長官による下院軍事委員における証言（2025年5月14日）

意思決定の速度と質の向上

1. 強化したセンサー群からの膨大なデータを多層的なネットワークで**情報共有**
2. クラウドで膨大なデータを**蓄積・処理**
3. AIによる分析で**戦場を可視化**
4. AIの活用で最適な**オプションを決定**
5. 割り当てられたシューターによる打撃



情報の種類・量の強化

データの統合 → 情報分析 → 意思決定

迅速かつ的確な意思決定



迅速・適切な対処

宇宙・サイバー領域での対処

- ◆ 宇宙・サイバー領域は、自衛隊の意思決定の優勢と、国民の経済・社会生活を支えるインフラ
- ◆ 宇宙・サイバー領域の**安定的利用の確保**のための能力を強化し、侵攻前後の脅威へ対処

宇宙・サイバー領域での脅威

サイバー

■ 自衛隊の活動基盤をなす重要インフラに対する一連のサイバー攻撃キャンペーン

宇宙

■ 我が国が利用する衛星に対する機能妨害・物理的攻撃（キラー衛星、電磁波妨害　など）

サイバー作戦能力の強化

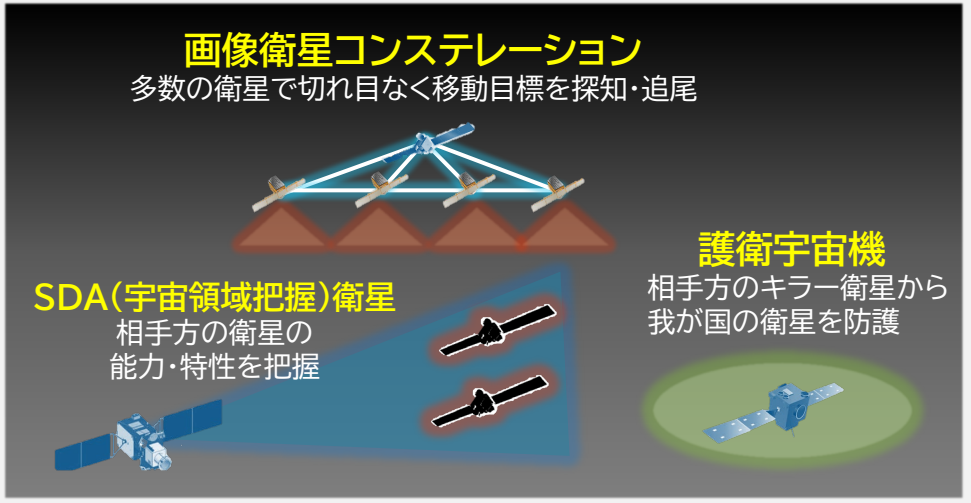
1 有事以前から**重要インフラを防護**



2 平素の情報収集からサイバー攻撃のトリアージ・レスポンスアクションの決定に至るまで、AIの活用により、数的優位にある相手方に対しても**優勢を確保**

宇宙の安定的利用の確保

3 多層的で**抗たん性の高い宇宙システム**の構築と脅威の**早期探知**や**衛星防護**による**機能保証**



宇宙・サイバー領域における脅威に対処し、自衛隊の作戦遂行能力と経済・社会基盤を維持

空からの脅威への対処

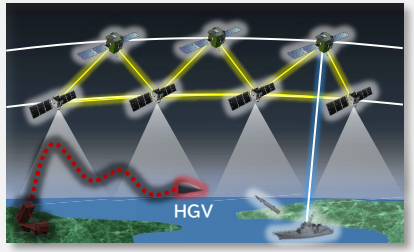
- ◆ 想定される空からの脅威が、より高度化・多様化
- ◆ 新しい技術と実績ある技術の組み合わせにより、「探知する・判断する・迎撃する・耐え抜く」能力を強化
- ◆ 我が国の反撃能力の実効性も強化（「質」「量」「プラットフォーム」）

想定される空からの脅威

弾道ミサイル　巡航ミサイル　極超音速滑空兵器　航空機　無人機

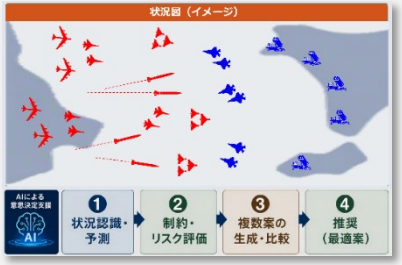
統合防空ミサイル防衛（IAMD）の能力強化

より早く・より遠くで・あらゆる脅威を探知する



米国が主導する衛星コンステレーション計画との連携も検討しつつ、見通し線以遠で極超音速滑空兵器等を探知

より速く・より正確に判断する



AI支援により、大量飽和攻撃に対しても迅速・正確に判断

より効果的・効率的に迎撃する



所要の迎撃ミサイルを確保しつつ、ハイエンドな手段と費用対効果に優れる手段を組み合わせ、多層的に迎撃

より強かに耐え抜く



※生成AIによるイメージ

デコイ（おとり）や抗たん化（掩体、地下化等）により、被害を低減

我が国の反撃能力の実効性強化のための取組

- ◆ 迎撃のみによって攻撃を防ぎ、長期にわたり対処を継続することは困難。やむを得ない必要最小限度の自衛の措置として、スタンド・オフ・ミサイル等を活用した反撃能力の実効性向上も必要。
- ◆ 反撃能力の構築は緒に就いたばかり。実効性を向上させ抑止力を強化するためには、「質」「量」「プラットフォーム（VLS搭載潜水艦等）」の強化が必要

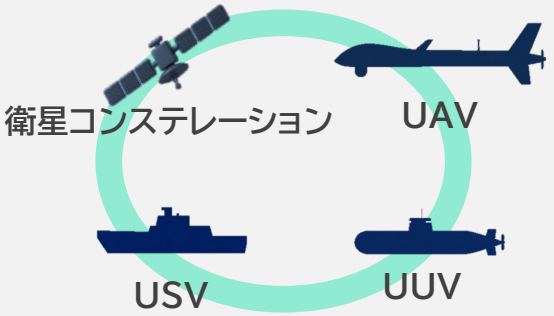
海上侵攻への対処

- 四面環海という地理的利点を活用
- **衛星・無人機等**を活用し**情報収集・警戒監視**を強化
- 膨大な情報を即時共有することにより、**無人機、スタンド・オフ・ミサイル**等による火力発揮に迅速に結び付けるネットワーク化された戦闘を実現し、相手方に**早期・遠方で対処**

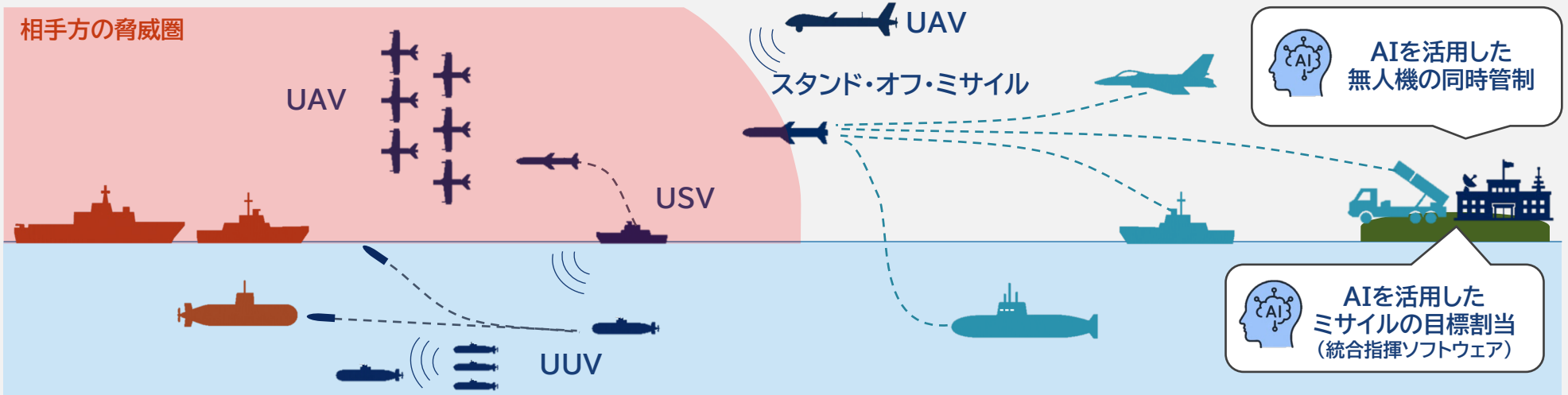
1 地理的利点を活用した情報収集・警戒監視

- ✓ **衛星・無人機**等を主要な地域に**重点配置**
- ✓ **広域・重層的かつ常時継続的**な情報収集・偵察など侵攻する戦力を早期に探知・追尾

❗ 脅威圏内でも**隊員を危険に晒さず情報収集可能**に



2 無人機等を最大限活用した海上での**早期・遠方**での対処



膨大な情報を火力発揮に迅速に結び付けるネットワーク化された戦闘を実現

継戦能力の強化

◆現状、装備品の可動率改善は進捗しているが、事業撤退や国際情勢に連動したサプライチェーンリスクの表面化も相まって、一部の装備品の可動率向上に影響

◆ウクライナで見られるようにひとたび侵攻が生起すれば、**長期化する可能性**

◆平時に「**備える**」、有事に「**増産・修理・改良**」「**助ける**」「**同盟国・同志国**から調達」「**運ぶ**」ことで、継戦能力を強化

平時

十分に備える



自衛隊が粘り強く対応するために必要な物資を確保



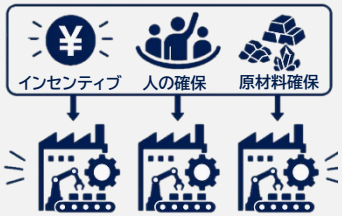
装備品の
非可動の解消



施設の強靭化
（地下化、抗たん化等）

有事

1 はやく増産・修理・改良する



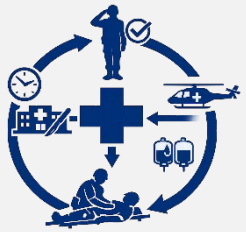
GOCOの活用、民生用製造ラインの防衛用途への転用等



ラピッド・イノベーション

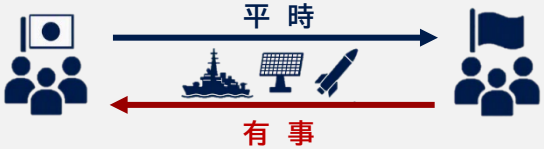
UAVをはじめ有事に
大量に緊急増産できる体制を構築

2 より確実に助ける



衛生機能の強化

3 同盟国・同志国から調達する



平時：装備移転の推進、海外生産・維持基盤の構築
有事：同盟国・同志国からの調達による確保

4 必要な場所に確実に運ぶ



無人化・省人化した
海上輸送力の強化

防衛省・自衛隊の在り方

- 防衛省・自衛隊は、防衛力の変革を不断に進め、安全保障環境の変化に迅速かつ的確に対応できる組織へと進化
- 徹底した無人化・省人化に加え、**司令部・部隊の整理・最適化により、第一線部隊を中心に高充足を実現**
- 陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空宇宙自衛隊が、それぞれの**任務及び特性に応じた役割を担う**
- 自衛隊員一人ひとりが、自らが所属する組織のみならず、**防衛力全体の実効性を支える存在**であることを認識し、その**職務に誇りと責任を持って任務遂行に当たる**ことが求められる

統合運用体制の更なる強化

◆ 現代の戦いにおいては、陸海空の従来領域に加え、その他の領域における能力を有機的に融合し、領域横断的に最大限の効果を発揮するための**統合運用が不可欠**

◆ 統合作戦司令部は、新しい戦い方への対応の一環として、AIによる高度な意思決定支援等を活用し、従来とは次元の異なる**迅速かつ正確な意思決定**を実現する組織へと変革

自衛隊全体として最大の効果を発揮し得る統合運用体制を構築

有人・無人アセットを組み合わせたより効果的かつ効率的な運用を前提としつつ、

陸上自衛隊

広域に分散し、ネットワーク化された部隊が、自律的かつ一体的に活動し、早期・遠方から国土防衛を粘り強く遂行できる組織へと変革

海上自衛隊

海上から深海・海底に至る広大な海洋領域を一体的に把握し、早期・遠方から持続的に脅威へ対処できる組織へと変革

航空宇宙自衛隊

宇宙における能力を発展させ、航空・宇宙領域から統合作戦全体の能力を最大限に発揮させる組織へと変革

次期三文書で重視する防衛力強化の分野

- ◆ 次期三文書において**重視する防衛力強化の分野**は以下のとおり
- ◆ 特に、**AI**に関しては、すべての分野に共通して、相互の連接を強化、防衛力全体を一つのシステムとして機能させるものと位置付け、重点的に取り組む



※図はAI作成によるイメージ

※上記は特に重視する分野であり、他分野の防衛力も引き続き強化

同盟国・同志国等との連携

- **同盟国たる米国との協力を一層深化**することにより、日米共同による、拒否する防衛力を強化
- **同志国等との連携を一層強化**することにより、抑止力としてより実効的な同志国連携の構築

米国との協力の一層深化

『日米共同による、**拒否する防衛力を強化**』

抑止・対処の実効性の更なる強化

- あらゆる領域や「新しい戦い方」に対応するための協力
- 米国による拡大抑止の提供を組み合わせ、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化

同盟としての継戦能力の強化

- 装備品の共同開発・生産、相互互換性の向上
- 米国製装備品の日本国内における共同維持・整備能力の拡充　等

在日米軍の駐留を支える取組

- 在日米軍再編の着実な進展や即応性・抗たん性強化を支援



日米共同訓練
（レゾリュートドラゴン26）

同志国等との連携の一層強化

『抑止力として**より実効的な同志国連携**の構築』

同志国等との実効的な連携

- 力又は威圧による一方的な現状変更にも対抗できる多角的・多層的な連携
- シーレーン防衛を含む継戦能力の協力

具体的には、
- オーストラリア
- 韓国
- インド
- 東南アジア諸国
- 欧州諸国
- NATO・EU

等、との連携を強化



日印共同訓練
（ヴィーア・ガーディアン26）



米比主催多国間共同訓練
（バリカタン26）

防衛力の中核である人材

- 防衛力の中核である人材を確保し続けるための取組を実施。
- **隊員一人ひとりがその能力を最大限発揮できる環境**を整備するとともに、**退職自衛隊員及びその家族に対する支援**を強化することで、**「世界で最も人を大切にする組織」**を目指す



自衛隊員の確保

人口減少を背景に、募集・採用を取り巻く環境が一層厳しくなっている現実を踏まえた対応が必要

▼

自衛官の現員を確保するため、募集対象者の多様化、定年延長や勤務延長の拡充等を推進



職業としての魅力化

自衛隊員の人材の確保・定着に資する環境の整備が必要

▼

自衛官の給与体系の独自見直しを含む処遇改善、生活勤務環境の改善、人事制度の柔軟化、組織文化の改革等を推進



人材の育成・活用

新しい戦い方に対応するための教育・訓練の充実や、自衛隊の衛生機能の強化が必要

▼

ＤＸやＡＩの活用を含めた教育・訓練の最適化や専門教育の充実を推進

民間医療機関等との連携強化による人材育成、医官等の教育研修の強化、第一線から後送先までのシームレスな医療・後送態勢を確立



退職自衛隊員・家族支援

使命を全うした退職自衛隊員や自衛隊員を平素から支える家族が安心と希望を持てる環境の整備が必要

▼

退職自衛隊員・家族に対する支援について新たな庁の設置を含め取組の強化を検討するとともに、関係団体等との連携の強化、予備自衛官等の充足向上を推進

各種施策を通じて、「世界で最も人を大切にする組織」を目指す